

英語教育におけるビデオ教材の利用

住 本 哲 子

Using Videos as Audiovisual Materials in English Language Teaching

Akiko SUMIMOTO

I

小川芳男によれば英語教育の目的は「第一は英語を学習すること自体によって、新しい思考形態を掴むことであり、第二は学習した英語を手段として広く知識なり思想なり意志などの交流をはかることである。」¹⁾ コミュニケーションの媒体である言語を習得する過程において教養を身につけているわけである。大学の英語教育の目的もこの2つに集約することができる。唯、第2の目的について敷衍すれば、「異質文化の理解力と内容あるコミュニケーションの力を養い、文化・学術の国際交流を可能にする。」²⁾ といえよう。今日のような国際社会においては当然の傾向であるが、実用的なコミュニケーションを目指すべきであるという理論がある。コミュニケーションが成立するためには、相手の言うことを聞きとり理解した上で自分の意見を相手に伝えなければならない。この言語活動を目指す指導には「聞く」「話す」ことの指導が必要となってくる。羽鳥博愛が指摘する通り、「母国語の場合には、聞くことが一番やさしく、話すこと、読むこと、書くことの順でむずかしくなる。ところが、英語の場合には読むことが一番やさしく、書くことがこれにつぎ、話すことと聞くことが一番むずかしい。」³⁾ 確かに筆者自身の経験でも自分の意志を相手に伝えることはできるが、相手の話していることが聞きとれなくて困ることがある。結局話すことより聞くことの方がむずかしいと思われる。母国語の場合には聞くことが一番やさしいのに、英語ではどうして一番むずかしいと感じるのだろうか。それは母国語と外国語では接する時間に大きな差があることによる。母国語の習得環境が自然な環境であるのに対し、外国語の場合はいわば人為的な環境で言語を習得していくのである。習得しようとする言語とは異質の言語社会文化の中で学ぶことの障害を認識すると共に「できるだけその外国語が表わし使われている社会文化についても習得できるように配慮する必要がある。」⁴⁾

今述べた「聞く」「話す」という英語の運用能力の養成にLLの果たす役割は大きいと考えられる。LLが日本に最初に導入されたのが1951年であり、京都学芸大学にテープ式録音機が数台設置され音声面での訓練に利用された。1950年代にテープレコーダーが開発されて以後、60年代にはA-A-Cの機能を持つLLの普及によりLL設置校が増加し、1970年代には映像関係の技術革新によりVTRが開発されテープレコーダーのように利用できるようになった意義は大きい。OHP、スライドなどによる静止映像とは異なり、音声と映像を同時に記録・再生することができるビデオテープレコーダーの開発により、音声のみによるLL授業から視覚と聴覚に訴えるLL授業が可能になった。LLの歴史をたどってみると、教育機器というハードウェアの進歩が著しいことに驚かされるが、教材というソフトウェアの開発には多くの課題

が残されている。LLによる外国語学習を効果的に行なうためには適切な教材が必要であり、また教材をいかすための適切な教授法が重要となる。LLの設備が多様化した現在、新しい機器を有効に使いこなし十分教育効果をあげるように心がけなければならない。

II

田崎清忠は、「視聴覚教育の目標のひとつは、視聴覚的教具・教材のはたらきによって、事物の意味が意味するものを把握する原理化にある。つまり、一般化の概念形式にある。……個々のものを見せることそのものに目標があるのではなく、見るという感性的認識を通して容易に形成されていく理性的認識つまり概念把握を目標としているのである。」⁵⁾と述べている。デール (Edgar E. Dale) の「経験の円錐体」とホーバン (Charles F. Hoban, Jr.) の「カリキュラムの視覚化」の理論は‘verbalism’におちいらないための‘non-verbal material’の有用性を指摘している点で興味深い。デールは視聴覚教材の効果的な使用の利点について次のように述べている。

Audio-visual materials, when properly used in the teaching situation, can accomplish the following:

1. They supply a concrete basis for conceptual thinking and hence reduce meaningless word responses of students.
2. They have a high degree of interest for students.
3. They make learning more permanent.
4. They offer a reality of experience which stimulates self-activity on the part of pupils.
5. They develop a continuity of thought; this is especially true of motion pictures.
6. They contribute to growth of meaning and hence to vocabulary development.
7. They provide experiences not easily obtained through other materials and contribute to the efficiency, depth, and variety of learning.⁶⁾

伊藤嘉一は、「言語で言語を教えてきた英語教育は最大のバーバリズムなので、VTR, EVR, 映画など映像教材の開発が望まれる。」⁷⁾と述べているのは正しい。映像教材の利点は、現実の社会において実際に英語が話されている場面を提示してみせることができ、言語現象を具體的体験に結びつけることができることである。又外国文化に対する理解を深めることもできる。映像教材と音声教材とどちらが‘listening comprehension’の向上に効果的であるかについては、既に光山和雄⁸⁾、河野護⁹⁾、藤井和洋¹⁰⁾の報告が出されている。光山、河野の実験結果では映像教材がやや有利という報告であった。

筆者がLL演習の授業において、映像教材“Follow Me to San Francisco”を使用し、音声のみを聞かせた‘Tapeグループ’と映像を提示し音声を聞かせた‘VTRグループ’の聴解能力をテストした結果も‘VTRグループ’の方がやや有利であることがわかった。音声教材は聞くことに集中できるという利点があるが、映像教材は会話の状況を理解することが英語の理解の助けになるといえる。又学生の反応についての調査結果でも大多数が映像教材に興味を示していることがわかった。最近映像教材の中、ビデオ教材も多くみられるようになった。そこで市販の教材について調査し、内容について検討し今後の英語教育に役立てたい。

Ⅲ

ビデオ教材は多種多様あり、販売代理店もいくつかあるがジェムコのビデオ教材カタログを調査し、内容により次の5項目に分類した。

1. 会話

Bid for Power (13のエピソード・各15分, ¥ 273,000)

BBC制作。ビジネス英語をドラマ形式で学ぶ。

Challenges (6のエピソード・各20分, ¥ 120,000)

BBC制作。英語の慣用表現を修得させるための教材。

Comedy Time (4のエピソード・各30分, ¥ 120,000)

BBC制作。'Fiasco', 'The Monster', 'Plan to Kill', 'The Red Arrow' のコメディ。

Follow Me (60のエピソード・各15分, ¥ 720,000)

BBC制作。興味を起させるような導入により語句を記憶させる。

Follow Me to San Francisco (10のエピソード・各6分, ¥ 90,000)

BBC制作。若者の体験を通して米語を修得させる。

It's Your Turn to Speak (6巻・各20分, ¥ 20,000)

ネルソン制作。色々な文型、会話表現を場面に応じて学ぶ。英語・米語を修得。

On the Right Track (3巻・各30分, ¥ 165,000)

リングフォン制作。ユーモアある会話、ゲームなどによる会話表現の修得。

On We Go (30のエピソード・各15分, ¥ 360,000)

BBC制作。4人の若者の日常生活を通して会話表現を修得。

People You Meet (26のエピソード・各15分, ¥ 312,000)

BBC制作。短かいコメディによる会話表現の修得。

The Sadrina Project (12のエピソード・各20分, ¥ 180,000)

BBC制作。旅行英語やビジネス英語の修得に最適。

Switch On (60分, ¥ 68,000)

ネルソン制作。海外旅行、会議等に役立つような会話表現を学ぶ。

Business (2巻・各20分, ¥ 100,000)

ネルソン制作。

Travel and Tourism (2巻・各20分, ¥ 100,000)

ネルソン制作。海外旅行英語に関する会話表現を演習。

2. 発音, スピーチ, 読解力, 英作文シリーズ

Lane's Pronunciation Guide (20分, ¥ 25,000)

英語の発音を視覚と聴覚の両面からとらえた発音教材。

Communication (3巻・各14分, ¥ 170,000)

コミュニケーションの3要素である、送り手、受け手、メッセージを紹介。

Effective Writing (6巻・各11分, 各14分, ¥ 330,000)

英作文の技法を紹介。

Reading & Writing in Business (4巻・各11分, 各13分, ¥ 230,000)

ビジネス関係に必要な読み書きの技術を紹介。

3. 英米の社会及び風物シリーズ

Active English Through Films (4巻・各11分, ¥ 200,000)

各国の風俗, 習慣, 年中行事などを紹介.

American English in Modern Situation I (6巻・各15分, ¥ 270,000)

英語を外国語として学習する人のために制作されたもの.

Living in the United States (9巻・各14分, 各16分, ¥ 540,000)

アメリカの風物, 産業, 生活を紹介.

Family Living (4巻・各11分~35分, ¥ 290,000)

アメリカの家庭生活を紹介.

Guidance (5巻・各13分~18分, ¥ 320,000)

アメリカの生活, 習慣を紹介.

Marriage (5巻・各17分~27分, ¥ 390,000)

アメリカの社会の若者の結婚の生態を紹介.

Human Understanding (3巻・各12分~51分, ¥ 210,000)

社会の弱者について考える.

Social Problems (3巻・各16分~19分, ¥ 195,000)

アメリカの社会問題, 社会における女性の役割などについて考える.

Minorities (5巻・各14分~16分, ¥ 300,000)

アメリカの少数民族をテーマにし, アメリカ社会の問題点を探る.

Education (3巻・各17分~28分, ¥ 230,000)

教育の問題について多くの角度から考察するシリーズ.

My First Job (6巻・各10分, ¥ 310,000)

デパートや食堂などの職場の日常業務を紹介.

U.S. Economy (3巻・各21分~35分, ¥ 250,000)

世界のエネルギー問題, 経済問題を考えるシリーズ.

Consumer Skills (6巻・各11分~14分, ¥ 340,000)

アメリカでの消費者生活を紹介.

What to Do ... When You Need (5巻・各17分~21分, ¥ 360,000)

外国で生活するのに必要な知識を与えてくれるシリーズ.

4. 英米文学史及び歴史シリーズ

America (13巻・各52分, ¥ 350,000)

BBC制作. クックがアメリカ発展の歴史をジャーナリストの目でとらえている.

Civilisation (13巻・各52分, ¥ 350,000)

BBC制作. 美術史家のケネス・クラークが西洋の歴史, 文化, 伝統について解説.

American Literature (5巻・各11分, ¥ 260,000)

コロネット社制作. 植民地時代からリアリズムの時代までの文学の背景を探る.

American History: Colonial Life (3巻・各10分~11分, ¥ 160,000)

コロネット社制作. アメリカの植民地から第2次世界大戦までの政治・経済・社会.

American History: American Revolution (3巻・各10分~11分, ¥ 160,000)

コロネット社制作. アメリカ革命の歴史.

American History: The Civil War (3巻・各16分, ¥ 190,000)

- コロネット社制作。1820年～戦後までの戦争の背景を探る。
American History: U.S. in the 20th Century (4巻・各12～21分, ¥ 250,000)
 1900年～1940年までのドキュメンタリー。
English Literature (6巻・各14分, ¥ 350,000)
 チョーサーからヴィクトリア朝時代までの英国の代表的な作家, 作品を紹介した英文学史。
English History (6巻・各11分, 14分, ¥ 320,000)
 アングロ・サクソン時代から19世紀の産業革命までの歴史。
Medieval Times & The Renaissance (4巻・各11～各16分, ¥ 230,000)
 中世の封建制度, ルネッサンスを紹介。
5. 英米の作家及び作品シリーズ
Authors & Their Works (8巻・各11分～16分, ¥ 230,000)
 アメリカ文学を代表する作家を紹介したシリーズ。
American Short Story (19巻・各30分～57分, ¥ 1,800,000)
 アメリカの短篇小説をテレビドラマ化したシリーズ。
The Writer in America (8巻・各29分, ¥ 650,000)
 アメリカ現代作家を紹介。
19th Century Literature (7巻・各25分, ¥ 540,000)
 BBC制作。19世紀を中心にした作品をとりあげ鑑賞。
20th Century Literature (7巻・各25分, ¥ 540,000)
 BBC制作。20世紀の作家について論ずる。
William Shakespeare (7巻・各14分～50分, ¥ 540,000)
 シェイクスピアの作品を論じ, 時代的背景についても言及。

IV

市販のビデオ教材は予想外に多かったので, すべてをとりあげることができなかったが会話の教材については可能な限り視聴し検討した。また視聴できないものについてはテキストで内容を検討した。“On We Go”は13才～14才の中学生を対象とした初級レベルのものであるが, 大学1年次に使用してもよい内容である。“Follow Me to San Francisco”は10課からなり, アメリカの生活, 習慣について理解を深めることができる中級レベルの会話教材である。“Exercise”が精選されており大変よい。“Switch On”は10課からなり, 電話のかけ方, 道のたずね方, レストランでの注文の方法などの日常表現が学べるようになっており初級レベル。自習教材としても好適。

英米の社会及び風物シリーズや英米文学及び歴史シリーズは‘listening comprehension’の養成に使用したり, 文学史の補助教材として利用するのもよいであろう。

英米の作家及び作品シリーズは色々あり, 英米文学講読の授業に使用し, 速読を行うのもよいと思われる。

以上のようにビデオ教材の利用方法も目的により色々考えられるが, 高価なのが問題である。自主教材の制作もいくつかの大学で試みられているが, 設備や制作スタッフなどの条件がととのえば望ましい方向であろう。

注

- 1) 福原麟太郎・中島文雄・岩崎民平監修：現代英語教育講座，第1巻，英語教育論 47 研究社（1964）
- 2) 中島文雄監修：講座新しい英語教育 I，新英語教育論 257 大修館書店（1976）
- 3) 同上 147
- 4) 同上 122
- 5) 田崎清忠他著：英語科視聴覚教育ハンドブック 3 大修館書店（1968）
- 6) Dale, Edgar: *Audio-Visual Methods in Teaching*, 65, The Dryden Press (1954)
- 7) 伊藤嘉一：「英語教育改善へのデザイン」，英語教育，XXV・3，22～24（1976）
- 8) 光山和雄：「英語聴解に及ぼす映像刺激の影響」，英語教育，XXIV・12，17～19（1976）
- 9) 河野 護：「ヒアリングにおける映像の役割」，英語教育，XXVIII・12，13～15（1980）
- 10) 藤井昭洋：「A-V aids のプラス面とマイナス面」，英語教育，XXIX・7，79～81（1980）

参 考 文 献

- 1) 福原麟太郎・中島文雄・岩崎民平監修：現代英語教育講座，第11巻，視聴覚教室，研究社（1966）
- 2) 福原麟太郎・中島文雄・岩崎民平監修：現代英語教育講座，第2巻，英語教授法，研究社（1964）
- 3) 鳥居次好・片山嘉雄・遠藤栄一編：英語科教育の研究，大修館書店（1975）
- 4) 金田正也著：英語教育ライブラリー，第6巻，視聴覚教材・教具の利用，開隆堂（1976）
- 5) 天野一夫監修 羽鳥博愛編著：LL指導の理論と実践，桐原書店（1977）
- 6) 町田隆哉：「英語授業への映像利用－S. モーレイのアプローチ」，名古屋学院大学紀要 4 19～23（1981）
- 7) Fries, Charles C.: *Teaching and Learning English as a Foreign Language*, Univ. of Michigan Press (1945)
- 8) Lado, Robert: *Language Testing*, Longmans (1961)
- 9) Rivers, W.M.: *Teaching Foreign-Language Skills*, Univ. Of Chicago Press (1968)
- 10) Stack, Edward M.: *The Language Laboratory and Modern Language Teaching*, Oxford University Press (1966)